

有価証券の時価情報

(単位：百万円)

平成20年9月末				
時 価	評価差額	うち		
		益	損	
その他有価証券 3,530	△456	12	468	
株 式 90	△25	0	25	
債 券 2,031	△11	12	23	
その他 1,408	△419	0	419	

<参考>

(単位：百万円)

平成20年3月末			
時 価	評価差額	うち	
		益	損
2,436	△332	3	335
80	△30	0	31
823	△4	2	7
1,532	△296	0	297

[注記]

- 1) 平成20年9月末の「評価差額」及び「含み損益」は、平成20年9月末時点の帳簿価格（償却原価法適用後）と時価との差額を計上しております。
- 2) 譲渡性預金、コマーシャル・ペーパー及び貸付信託受益権等はありません。
- 3) 子会社・関連会社株式はありません。尚、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

平成20年9月末			
帳 簿 価 格	含み損益	うち	
		益	損
満期保有目的の債券 1,240	△105	1	106

<参考>

(単位：百万円)

平成20年3月末			
帳 簿 価 格	含み損益	うち	
		益	損
1,270	△102	2	104

損益の状況

(単位：百万円)

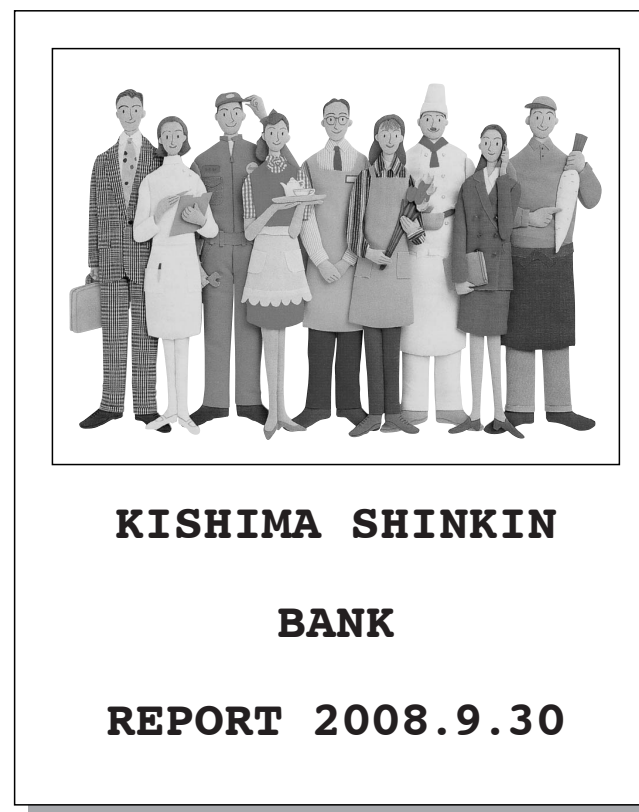
平成20年9月末	
経常収益	588
業務収益	584
臨時収益	3
経常費用	540
業務費用	539
(経費)	(406)
臨時費用	0
経常利益	47

<参考>

(単位：百万円)

平成19年9月末	
	640
	635
	4
	536
	516
	(399)
	20
	103

DISCLOSURE



杵島信用金庫

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡8894番地
Tel 0954(23)1281 Fax 0954(23)1513
<http://www.kishimashinkin.co.jp>



ハートフルしんきん
きしま信用金庫

地域貢献ディスクロージャー

(平成20年9月末)

*当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

信用金庫は、限られた地域で事業を展開していますので、信用金庫の持続可能性は、その地域自身の持続可能性に委ねられています。したがって、地域の経済的、文化的、社会的諸問題は信用金庫にとっての問題であると認識しています。

そこで、私たち信用金庫は、地域と「運命共同体」であるというのではなく、「地域は自力で競争力を創造する」と決意し、個人、中小企業、NPO法人、地方自治体、大学、技術研究所等との良い関係を築いて、一体となって取り組む「使命共同体」を形成し、信用金庫は、その中核になっていきたいと考えております。

*預金積金に関する事項

1年前と比べた預金積金の伸び率は4.0%となりました。内訳は、定期性預金で1,984百万円増加し、要求払預金は151百万円減少しました。

*単体自己資本比率に関する事項

平成20年9月末仮決算において自己資本比率は、8.98%となります。
20年3月末単体自己資本比率9.21%に対して0.23ポイント減少しました。国内基準4%以上を大幅に上回る水準の単体自己資本比率を維持しています。

*金融再生法ベース開示債権に関する事項

金融再生法による開示は、貸出金及び債務保証以外も開示の対象としております。平成20年9月末における貸出金等資産を厳密に見直した結果、金融再生法上の不良債権の比率は、12.2%となりました。

*文化的・社会的貢献に関する事項

地域社会の一員として、福祉施設のイベント参画等地域に根ざしたボランティア活動を行い、また、各地で賑やかに開催される「祭り」にも積極的に参加しています。

また、8月26日から3日間、社会貢献の一環として、インターンシップによる学生の受入れを行ないました。就業体験を通じて、信用金庫の業務や役割を理解して頂き、働く上での大切なことを将来のキャリア形成に役立てて頂くために実施しました。

*貸出金に関する事項

1年前と比べた貸出金は2.2%減少しました。(平成20年3月末不良貸出資産の売却・償却調整後0.1%増加)内訳としては、事業性資金が285百万円個人向け資金が382百万円減少しました。

*平成20年9月仮決算に関する事項

売上高に当たる経常収益は、前年度仮決算と比べて8.1%の減少となりました。主因は有価証券利息配当金の減少であり、貸出金による利息収入は453百万円で前年同期比0.4%の微減となりました。

なお、預金と貸出金の割合は61.0%であり、地元のお客様からお預かりした預金を、地域経済活性化のために円滑な資金供給を行っています。

*取引先への支援等

お取引先企業の経営再生支援サポート態勢の拡充を図ると共に、ビジネスマッチングに積極的に取り組み、お客様企業の新たな成長分野の開拓等に、共に汗を流しています。

金融再生法ベースの債務者区分による開示 (単体)

(単位：百万円)

開示債権	平成20年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,363
危険債権	611
要管理債権	1,698
正常債権	26,221
合計	29,895

[注記]

本表の金融再生法による開示は、貸出金及び債務保証等の貸出金以外も開示の対象となっております。

区分の説明

- 「破綻更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状況及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状況及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

<参考>
(単位：百万円)

	平成20年3月末
	1,420
	606
	1,021
	27,143
	30,192

単体自己資本比率 (国内基準)

(単位：百万円)

	平成20年9月末
自己資本額	2,429
リスクアセット	27,060
単体自己資本比率	8.98%

[注記]

オペレーショナル・リスク相当額は、直前の3月末において算出したオペレーショナル・リスク相当額をそのまま当てはめています。

<参考>
(単位：百万円)

	平成20年3月末
	2,467
	26,763
	9.21%

預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

	平成20年9月末
預金	47,556
貸出金	29,052

<参考>
(単位：百万円)

平成20年3月末	平成19年9月末
46,471	45,723
29,317	29,719

貸出金の内訳

(単位：百万円)

	平成20年9月末
製造業	1,891
農業	110
建設業	2,786
電気ガス熱供給水道業	11
情報通信業	17
運輸業	106
卸売業小売業飲食店	3,999
金融保険業	58
不動産業	3,171
サービス業	6,689
小計	18,843
地方公共団体	2,012
個人(住宅消費納税資金等)	8,196
合計	29,052

<参考>
(単位：百万円)

平成20年3月末	平成19年9月末
1,993	2,274
111	90
2,814	3,137
9	12
22	27
90	94
3,967	4,499
58	57
3,309	3,018
6,704	6,651
19,081	19,864
1,746	1,110
8,489	8,744
29,317	29,719